



入学・入所

▶上士幌小学校／4月8日(月)



▲北居辺小学校／4月8日(月)



▲上士幌保育所／4月2日(火)

3月21日(木)、気楽ゴルゲートクラブ(土田敏夫代表)の10周年記念大会がスポーツセンターで開催され、29名の会員が参加しました。

ゴルゲートはパークゴルフとゲートボールを合わせたような屋内スポーツで、どなたにでも手軽に楽しめます。毎週火・木の13時よりスポーツセンターでゲームを行なっていますので、興味のある方はぜひご来場ください。



3・4月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

3月21日

阿部てるさん100歳おめでとう



特別養護老人ホームすずらん荘に入所中の阿部てるさんが100歳を迎えられ、竹中町長より祝い状と祝い金が贈られました。

音更町出身の阿部さんは結婚を機に上士幌に移り住み、農業をしながら5人の子どもを育て、11人の孫と17人のひ孫に恵まれています。

3月30日

太陽光発電施設で竣工式



スカイソーラー・ジャパン株式会社の「上士幌第一太陽光発電所」が完成し、竣工式が行われました。

同社の陳鋭社長は、「上士幌町でわが社の北海道第1号の電気を発電します。今後上士幌町と末長くお付き合いしていきたい。」と挨拶されました。

続いて、一般家庭110戸分に相当するソーラーパネル前にて、竹中町長・陳社長・川村建設業協会会長によるテープカットが行われました。

多彩なステージに笑いと拍手

上士幌町オリジナルの笑いのステージ「第3回子どもおたのしみステージショー」が生涯学習センターで開催されました。

顔なじみの出演者が繰り広げるマジックや歌、踊りなどの多彩なステージに、会場を埋めた観客のみならずは大盛り上がりしていました。



3月31日

すずらん荘に握り寿司を提供



鮭の味通(小菅一志店主)は、特別養護老人ホームすずらん荘でお寿司を無料提供しました。平成3年から20年以上に渡り続けている取り組みで、入所している方々も大変喜ばれていました。

4月2日

待望のパン店に長蛇の列



地元産食材を使ったパンなどを販売するアンテナショップ「トカトカ」(小野智朗店長)が営業を開始しました。

店名の「トカトカ」は十勝(とがち)の「トカ」と「パン」とか、お肉とか、野菜とかなどの「トカ」から名付けられたもので、Aコープ上士幌店ルピナ(星和紀店長)が国道24号沿いの旧

ローソン店舗を改装してオープンしました。初日となるこの日は、待望のパン屋さんを待ちわびた町民が長蛇の列を作り、道産小麦や上士幌産食材を活用したパンを買い求めました。開店直後の列に並んだ6区の坂田いさ子さんは「すごい混雑ぶりですね。この調子でお店が繁盛してもらえれば。」と話されていました。

4月8日

ピストロふうかがリニューアルオープン

ぬかびら源泉郷の伊東佑城・亜邪さんご夫妻が、同温泉街のレストラン「ピストロふうか」の店舗を引き継いでリニューアルオープンしました。



先代オーナーの今野さんと、これまで家族ぐるみで付き合いをしてきたという伊東さんは、今野さんが故郷へ戻られるのを機に「いつかこう

いうお店をやりたいと思っていました」という夢を叶えるため、同店を譲り受けました。

これまでにぬかびら源泉郷スキー場で施設の整備などを手がけてきた佑城さんにとっては「全く畑違い」の仕事になりますが、同店を手伝っていたこともある亜邪さんと二人で、人気店だった「ピストロ口ふうか」の味を受け継いでいます。佑城さんは「お客さんから『また来るよ』と言っていただけのようなお店にしていきたいです。」と話されていました。

4月10日

開湯祭が開催されました



ぬかびら源泉郷で「開湯祭」が行われました。

大正8年(1919年)3月に島隆美・初代湯元館館主が同地で温泉を見つけたことを記念したもので、宿関係者や町の商工観光課職員らが玉串を神前に捧げ礼拝しました。

ぬかびら源泉郷旅館組合の市田雅之組合長は「6年前にこれからもみなさんでスクラムを組み、貴重な温泉を

きちんとした形で活用できれば。」と挨拶されました。

40名が交通安全をPR



春の全国交通安全運動にあわせ、国道24号沿いで「交通安全旗波作戦」(上士幌町交通安全協会と上士幌町防犯協会による共催)が行われました。

この日は上士幌町交通安全協会の工藤浩会長が「今年度も、協会・町・警察の三者で連携しながら住民の意識向上を図っていきたい。」と挨拶した後、交通安全指導員や商工会女性部、老人クラブ連合会の会員ら約40名が、30分間に渡り交通安全旗を掲げてドライバーにアピールしました。

4月11日

建設2社に教育委員会から感謝状



上士幌町教育委員会は、町内のスケートリンクの氷割り作業を実施した株式会社川村組(川村文雄社長)と株式会社田西建設(田西長徳社長)に感謝状を贈呈しました。

川村組は2月25日に町民スケートリンクを、田西建設は3月27日〜28日に上士

幌小学校スケートリンクの氷割り作業を行われ、子どもたちが1日でも早くスポーツや遊びでグラウンドを使えるようにしてくださいました。

4月14日

「ママ・カフェ」を初開催しました



教育委員会の「わくわく子育て講座・試行事業」として「ママ・カフェ」がふれあいプラザで開催され、子どもを持つお母さん13名が参加しました。全2回の講座の第1回目となるこの日は、三國峠カフェの武田昇生さんを講師に招いて「コーヒー教室」を開催し、3種類の豆を用いて美味しいハンドドリップコーヒーの淹れ方を講習。参加者からは「この豆はなにげに甘味がある。」「全然味が違う!」と大好評でした。

その後は帯広大谷短期大学・伊勢正明講師の司会によるワークショップ形式のカフェを実施し、武田さんのコーヒーを飲みながら、参加者同士で子育ての楽しさや悩みなどについて語り合いました。講座に参加した女性は「同じ立場の母親同士で悩みや思いが共有でき、気持ちになりました。来てみて良かったです。」と話されていました。

4月16日

消防署の鯉のぼりに子どもたちが歓声



上士幌保育所のパンダ組の子どもたちが、カラフルなマントを身に着けて「パンダヒーロー」に扮し、消防署の鯉のぼりを見学しました。

鯉のぼりは春の火災予防運動(4月20日～30日)にあわせて掲揚されたもので、子どもたちは鯉のぼりの歌を歌ったり、下の方にある小さな鯉のぼりに向かってジャンプしながら、思い思いにヒーローになりきっていました。

4月17日

第31回林業労働災害防止・交通安全大会

第31回林業労働災害防止・交通安全大会が山村開発センターで開催され、町内の林業関係者約130名が参加しました。

大会では、主催する上士幌町林業振興対策協議会の内海克己会長による挨拶の後、帯広労働基準監督署の



ローガン「安全が 最優先の我が職場 仲間を守る 家族を守る」「ストップ・ザ・交通事故死 くめさせ 安全で安心な 北海道」を確認して閉会しました。

4月19日

山本節子さんに法務大臣から感謝状



今年の3月をもって人権擁護委員を退任された山本節子さんに、法務大臣より感謝状が贈られました。

山本さんは15年の長きに渡り、住民の人権擁護と人権思想の普及高揚に尽力されました。

役場で行われた伝達式では釧路地方法務局帯広支局の石井支局長

大串尚哉安全衛生課長が「林業における労働災害の防止について」と題して講演しました。続いて上士幌消防署の西垣隆泰署長補佐が救命講習を行い「大人の心肺蘇生では、現在は人工呼吸よりも胸骨圧迫による心臓マッサージが有効です。」などと説明しました。

最後は2013年のス

役場の新人



しのへ ともあき 四戸 智昭(24歳)
担当課：保育課
出身地：函館市

上士幌町の保育・子育て環境がより良くなるよう笑顔と元気をモットーに頑張ります。



みしま けんた 三島 健太(19歳)
担当課：建設課
出身地：上士幌町

水道担当に入り分らないことが沢山あると思いますが、先輩方に色々聞いて一つひとつ知識を身につけて頑張りたいと思います！

より感謝状が贈られ、竹中町長より花束が手渡されました。伝達を受け、山本さんは「人権擁護委員をやらせていただき、いい人生勉強をさせてもらいました。逆に感謝したいくらいです。」と話されました。

新ALT(外国語指導助手)に

デビッド・ジョン・ウィルソンさん

が着任しました!



ALT(外国語指導助手)として、今年度よりデビッド・ジョン・ウィルソンさんが着任しました。

デビッドさんは英語指導や国際交流のため、町内の高校・中学校・小学校・保育所を訪問したり、教育委員会が主催するさまざまな事業を担当します。

これから、学校や街なかで出会うことがあったら「デビッド」または「デイブ」と呼んであげてください。

◆デビッドさんからのメッセージ

はじめまして。この度新しく上士幌のALT(外国語指導助手)に着任しました、デビッド・ジョン・ウィルソンです。この機会を通して子どもたちと上士幌の多くの方々と出会う事を楽しみにしています。

僕はアメリカのウィスコンシン州出身です。町のサイズは上士幌と同じくらいなので、コミュニティの連帯感のすばらしいことを知っています。だから、ここ上士幌の一員となることを楽しみにしています。

この体験が一方通行でなく、双方向の文化の交流であるよう願っています。アメリカの文化や私自身のことも少しみなさんと共有できたらと思います。

日本語はまだあまり上手じゃないですが、私を見かけたら、どうぞ気軽に声をかけてください。Yoroshiku onegaishimasu.

プロフィール

名前	デビッド・ジョン・ウィルソン (David John Wilson)
国籍	アメリカ合衆国
出身地	ウィスコンシン州 マクファーランド村
生年月日	1984年12月11日 (28歳)

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲期待と希望に胸を膨らませる新入生

先生方は、佐藤敬二教頭先生、山崎広平先生、木田昇友子先生、古起快先生の4人です。

新入生の蟹谷君は「校舎がきれいなのと、人数の多さに驚きました。上高の先生は熱血な先生が多く、特に上村先生がそうだと思います。高校では勉強を頑張り、大学に進学したいと思っています。」と上高の先生について話してくれました。

長野君は「先生方がとても明るかったです。高校では勉強を頑張り、将来に役立たいと思います。」と語ってくれました。

「先輩方の挨拶がよく、明るい雰囲気」と新入生の成田さんは話します。また、「担任の加藤先生は明るく、真面目そうでした。上高では勉強で苦手を無くせるよう、頑張りたと思います。」と新たな生活に向けて意気込みを話してくれました。

暖かな春の日差しの中、4月8日(月)に入学式が行なわれました。入学した新入生は62人。今年も賑やかになりそうです。また、今年新たに着任された先生

4月8日(月)
新入生62人
春迎える

文責 3年 佐藤 一翔

町民文芸

川柳

リスのためたくさん植えるクルミの木
 ゴールデンウィーク畑が僕を待っている
 ひとり立ちめざして料理習う日々
 青い空ヒバリの声が響いてる
 五月病サラリーマンには憂き季節
 姪っ子を腕に抱きしめ幸あれと
 温泉で太い仲間がいて安堵
 燦爛と希望でふくらむランドセル
 あいさつの前に飲んでる花見酒

短歌

六年間コーラス指導を担ひくれし大石先生ついに転勤
 三月の風に抗ひ向ひたり送別会場今宵は遠し
 お母さん庭に福寿草咲いてるよ久びさ来たる娘の声ひびく
 部屋ぬちをかたづけくれる三日間を賑やかなりし今日娘は帰り
 玻璃のそと消残る雪のいささかとなりて裏への径は乾けり
 おほかたは吾が生いの果みへくるも何時いかなるときかは知り得ず

石川裕子
 高木慶子
 本間栞風

鈴 小 米 薮 大 桜 坂 白
 木 松 森 根 戸 田 石
 義 博 真 ト 花 い 子
 美 樹 守 弓 ヲ ク 絵 さ 馨

平成 25 年 3 月末現在の人口

男 2,456人(先月比-22)
 女 2,574人(先月比-1)
 計 5,030人(先月比-23)
 世帯数 2,337世帯(先月比+3)

寄 付

▶宮坂・橋内経常建設共同企業体、横山・宮内・スズキ経常建設共同企業体、株式会社塚田設備工業は、3月28日にビクターセンター連携施設工事竣工祝いとして掛時計を寄付されました。
 ▶3の2区の金子芳信さんは、4月4日に火災予防広報用として鯉のぼりを寄付されました。

一ふるさと納税一

▶各・金1万円…西川理さん(茨城県)、川下明彦さん(長崎県)、松尾智恵子さん(長崎県)、大竹正広さん(埼玉県)、沖野巖さん(大阪府)、林拓郎さん(神奈川県)、梅田和行さん(神奈川県)、岩本謙一郎さん(東京都)、近藤和男さん(千葉県)、長谷川隆幸さん(神奈川県)、市川淳一さん(埼玉県)

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



編集後記

紙4月に入って「トカトカ」と「ピストロふうか」さんの2つのお店を取材しました。紙久しぶりのパン屋さん、若い経営者によるレストランの再スタートと、大変明るい話題に元気をもらいました。(これからも明るい話題を沢山提供したいです。・・・Y)

紙今春から娘と一緒に作れたらと、初めて洋菓子づくりを始めました。最初は、バターなしのロールケーキを作りました。そこそこ周りに好評だったので、次はシュー生地のものに挑戦したいと思います。(僕の生クリームは動物性200mlに対して13gのグラニュー糖とバニラエッセンスをいれて、甘さ控えめで作ります。・・・K)

広報 **がみしほろ** 6月号は 5月24日(金)発行予定